

辰野町各小学校 外国語科 平成30年度以降の計画案

H29, 11, 29

1 11月21日実施の南小外国語活動研究授業より 指導主事の指導

① 時間枠の取り方について

- ・5・6年については、モジュール+1時間 可能
- ・3・4年については、発達段階からモジュールは×。1時間をきちんと取る。
- ・県で元を今後示す予定。しかし一律にはいかない。学校・地域によって考える。例えば他地区では、夏休みにイングリッシュデーを取り、小規模校の児童を集め、そこで10時間を確保するという事もできる。また「職員会議のない週」の水曜日を6時間にする方法も考えられている。

② 指導内容と移行措置での指導について

- ・「ウイキャン」(教科書が選定されるまでの文科省が示す教科用図書)は70時間満額実施の内容が示されている。12月中を目処に、文科省より移行期間中15時間でどこをどう扱えばいいかが示される予定。(11月末現在示されていない)
- ・5・6年については、CSの改定で「素地を養う」→「基礎を養う」に変わっている。つまり、楽しければ何も身につかなくて良い、ということではない。
- ・「読む」「書く」の活動に関しては、アルファベットは書けないといけませんが、この単語はこの文字で表されること、慣れ親しんだ英単語がどの文字とマッチしているかを判断できること、示された英語を写すことが主な内容となる。
- ・担任とALTとの指導割合は、今のところ50%ずつ。

2 他地区の情勢

(箕輪町)

- ・レシピ方式をベースに考えて行く。
- ・来年度は3・4年35時間 5・6年70時間を先行実施して行く。
- ・5・6年については、+35時間をモジュール授業(15分×週3日)にて行う。
- ・3・4年については、国語をモジュール授業とし、1時間の外国語活動の時間を確保。

(南箕輪村)

- ・未定
- ・9月時点でモジュールでの+15時間を考えている。

(郡内の他校の様子)

- ・水曜日の清掃を無くし、6時間授業を考えている学校が多い。

3 町として、学校として今後すべきこと

- ① 町の ALT の入り方を決める → 2 名体制が取れない場合、外国語をモジュール×3 で週+1 時間を考える。

※モジュールの利点

○担任にとっては1時間丸々任せられるより、15分単位で指導する(指導が終了できる)方が、負担が少ないと思われる。(モジュールの内容例は文科省より示されている。それによると、書くこと読むことなどを単元から取り出して指導する方向)

○モジュールにせず週1時間一コマ増えると児童の負担感が増大する。

○短時間の繰り返し指導(細切れ)の方が、長時間まとめた指導より児童の意欲を保つことができやすい。

- 2名のALTを確保できる場合、国語をモジュールにして、1時間分の外国語授業時間を、浮いた週1コマに入れられる。

- ② ALT任せではなく、担任も前に立って指導を実施するという指導者(教員)の意識改革をする。(どのような体制になっても、6学年中4学年は担任中心の指導が必要となる。今まで通りには行かない。教員も主体的で深い指導力をつける必要がある)
- ③ 保護者・地域に外国語科の考え方(文科省の考え、町の基本方針)を周知する。
- ④ 中学校との連携を図り、小学校で指導したことが中学校でどのように発展していくかを知った上で、小学校指導に生かす。また中学校でも小学校での基礎力を元に、中学校の外国語科でどのように発展させていくかを具体的に考える。
- ⑤ 指導内容の配列を考え、移行期+15時間の外国語科教育課程を決める。(時間枠を決めるより大事なことであるが、まだどこもここまで考えられていない現状)
- ⑥ 既存教科をモジュールにした場合の、国語または算数のモジュール配列を考えておく。
- ⑦ 指導教材をそろえる(今後の外国語指導において、何が必要で、今のうちに何を購入しておくのがよいか。フラッシュカード?デジタル教材?何も教材がないゼロからのスタートは難しい)

- ⑧ 移行期の教育課程を2年間実施した結果を持ち寄り、本格実施までに町全体計画の見直し・再検討が必要。(町全体の外国語委員会の継続)
- ⑨ 町独自の研修による、指導力の向上も必要。また各学校の支援ができる外国語支援員の配置を町で実施していただけるとありがたい。
- ⑩ 評価について、各校で基準を設けるとともに、町である程度統一する。(通知表にどのように記載するか。どのような枠に記載するか。→要録は2年後に新しくなり、項目が明示される予定)
- ⑪ インタラックの指導内容が、新学習指導要領とマッチしているかの検討。
- ⑫ 専科教員配置情報のアンテナを高くしておく。(文科省が考えている方策の一つである)

☆参考 町 ALT の配置の試案 (2 名の場合)

- ・ 30 年度のクラス数で計算してある。
- ・ 曜日、曜日内のクラスの割り振りは例示である。

東小
 3年×2 4年×2
 5年×2 6年×2

◇【辰野南小 辰野東小 両校で1週間1名配置】

(南小 2 日) 3・4・5・6 年で 6 コマ

月曜日	水曜日
① 3年	① 4年
② 5年	② 6年
③ 6年	③ 5年

(東小 3 日) 3・4・5・6 年で 12 コマ

火曜日	木曜日	金曜日
① 6-1	① 6-1	① 4-1
② 5-1	② 5-1	② 4-2
③ 6-2	③ 6-2	③ 3-1
④ 5-2	④ 5-2	④ 3-2

西小
 3年×2 4年×3
 5年×3 6年×3

◇【川島小 辰野西小 両校で1週間1名配置】

(川島小 2 日) 適宜配置

月曜日	水曜日
適宜	適宜

(西小 3 日) 3・4・5・6 年で 17 コマ

火曜日	木曜日	金曜日
① 6-1	① 6-1	① 3-1
② 6-2	② 6-2	② 3-2
③ 6-3	③ 6-3	③ 4-1
④ 5-1	④ 5-1	④ 4-2
⑤ 5-2	⑤ 5-2	⑤ 4-3
⑥ 5-3	⑥ 5-3	

※以上のように ALT 2 名配置ができると、各校 国語・算数をモジュールにして、外国語科を週 2 コマ取り、かつ同級が同日に 2 時間取らずにその時間の指導は TT 形式で可能。
 ※移行措置期間で 35 時間→15 時間としても、その分の 20 時間 (ALT の空き時間) は保育園・1・2 年に回せる。
 ※両小野小については、要検討。塩尻市で配置？両小野中の AET の活用？

移行措置について

H29	F30	F31	F32	F33
6年 【35時間】	中1	中	中3	高1
5年 【35時間】	6年 【50時間】	中1	中2	中3
4年 【0時間】	5年 【50時間】	6年 【50時間】	中1	中2
3年 【0時間】	4年 【15時間】	5年 【50時間】	6年 【70時間】	中1
2年 【0時間】	3年 【15時間】	4年 【15時間】	5年 【70時間】	6年 【70時間】
1年 【0時間】	2年	3年 15時間	4年 35時間	5年 70時間
	1年	2年	3年 35時間	4年 35時間

短い時間を活用していく指針について

- ◆朝の時間、昼休み前後の時間、放課後の時間などを活用した、10分から15分の短時間学習の実施
- ◆45分と15分を組み合わせた60分授業の実施
- ◆3・4年での短い時間を活用した指導は困難

移行期間における学習評価の取扱い

現行小学校学習指導要領の下の評価規準等に基づき、学習評価を行う

- ◆3・4年の指導要録の取扱い
総合所見及び指導上参考となる諸事項を記録する欄に顕著な事項を記入
- ◆5・6年の指導要録の取扱い
現在の取扱いと同様とし、外国語活動の記録の欄に文章で記述

例) Lesson Goal

買い物物の場面でやりとりをすることができるようになる

学びに向かう力・人間性等

海外旅行のときに使おうとする意欲
相手の言ったことを理解しようとする
受容力

知識・技能

もの名前
買うときの表現
お店で使う表現

思考力・判断力・
表現力等

会話の流れから必要な表現を選択

①知識・技能の習得



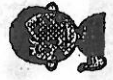
【ポイント】

体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ



【ポイント】

実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身につける



③学びに向かう力、人間性等の涵養



【ポイント】

児童の主體的に学習に取り組む態度の育成を
目指した指導をすることが大切

- 例) ・児童が興味をもって取り組むことができる
言語活動を易しいものから段階的に取り入れる
- ・自己表現活動の工夫



「目の前にいる相手」



「他者」

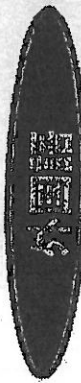
②思考力・判断力・表現力等の育成



【ポイント】目的や場面、状況に応じて



「聞くこと」「話すこと(やりとり)」「話すこと(発表)」の3領域



「音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりする」を含む5領域



外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に
応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

見方(知)・力
外国人
外国人によるコミュニケーションにおける見方・考え
外国人
外国人によるコミュニケーションにおける見方・考え
外国人
外国人によるコミュニケーションにおける見方・考え

◎図2 小学校3・4年生外国語活動新教材活 列 (年間35 単位時間)
 □で囲んだ部分が移行措置で扱う主な内容(15単位時間相当)

・3年生

単元時数	単元名
1 (2単位時間)	Hello! あいさつをして友達になろう 様々な言語があることに 気づく
2 (2単位時間)	How are you? ごきげんいかが?
3 (4単位時間)	How many? 数えてあそぼう
4 (4単位時間)	I like blue. 好きなものをつたえよう 日本語との音声の違いに 気づく 英語の表現に慣れ親しむ
5 (4単位時間)	What do you like? 何が好き?
6 (4単位時間)	ALPHABET アルファベットとなかよし 文字の読み方に慣れ親しむ
7 (5単位時間)	This is for you. カードをおくろう
8 (5単位時間)	What's this? これなあに? 日本語との言葉の成り立ちの 違いに気づく 2往復以上のやり取りを 経験する
9 (5単位時間)	Who are you? ~"In the Autumn Forest"~ きみはだれ? まともりのある話を聞いて わかる

・4年生

単元時数	単元名
1 (2単位時間)	Hello, world! 世界のいろいろなことばで あいさつをしよう
2 (4単位時間)	Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう 様々な動作を表す語に 慣れ親しむ
3 (3単位時間)	I like Mondays. 好きな曜日は何かな?
4 (4単位時間)	What time is it? 今、何時?
5 (4単位時間)	Do you have a pen? おすすめのお文具セットを つくろう 2往復以上のやり取りを行う
6 (4単位時間)	Alphabet アルファベットで文字遊びを しよう 文字の読み方に慣れ親しむ
7 (5単位時間)	What do you want? ほしいものは何かな
8 (4単位時間)	This is my favorite place. お気に入りの場所を しようかいしよう 様々な動作を表す語を 使って運案内する
9 (5単位時間)	This is my day. ~"Good Morning"~ ぼく・わたしの一日 まともりのある話を聞いて わかる

◎図3 小学校5

年生外国語新教材 活動例 (年間70 単位時間)
 移行期間中の年間50単位時間のうち、□で囲んだ部分が「Hi, friends」の内容に加えて扱
 う外国語科の主な内容(15単位時間相当)

・5年生

単元時数	単元名
1 (8単位時間)	Hello, everyone. アルファベット・ 自己紹介
2 (7単位時間)	When is your birthday? 行事・誕生日 英語の文字の配置を深める
3 (7単位時間)	What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業
4 (8単位時間)	What time do you get up? 一日の生活
5 (8単位時間)	She can run fast. He can jump high. できること 文字の音に気づく 第三者を紹介する
6 (8単位時間)	I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域
7 (8単位時間)	Where is the treasure? 位置と場所 文字の音に慣れ親しむ 簡単な語句を眺んだり 書き写したりする
8 (8単位時間)	What would you like? 料理・値段 丁寧な表現を使って 依頼したり応じたりする
9 (8単位時間)	Who is your hero? あこがれの人 その場で考えながら やり取りをする

・6年生

単元時数	単元名
1 (8単位時間)	This is ME! 自己紹介 まともりのある話を聞いて 意味を理解する
2 (8単位時間)	Welcome to Japan. 日本の文化
3 (8単位時間)	He is famous. She is great. 人物紹介 語順や日本語との語順の 違いに気づく
4 (8単位時間)	I like my town. 自分たちの町・地域 語順や語と語の区切りに注意 して書き写す
5 (8単位時間)	My Summer Vacation 夏休みの思い出 過去の表し方を知り、過去の ことを伝え合う
6 (6単位時間)	What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック
7 (8単位時間)	My Best Memory 小学校生活・思い出 過去のことを伝え合う
8 (8単位時間)	What do you want to be? 将来の夢・職業
9 (8単位時間)	Junior High School Life 中学校生活・部活動 中学校でやりたいことを 伝え合う

平成30年度

日課・週程表

辰野東小学校

時刻	合図	内容	月	火	水	木	金	特別日課
8:20	放送							
8:25	チャイ	朝行事	職員朝会 読書	ステップ タイム	読書 読み聞かせ	ステップ タイム	校長講話 音楽・運動・ 児童集会	朝行事 なし
8:40	チャイ	朝の会						8:25
8:50	チャイ							8:35
9:35	チャイ	移動						9:20
9:40	チャイ							9:25
10:25	チャイ	休み時間						10:10
10:45	オルゴ	移動						10:30
10:50	チャイ							10:35
11:35	チャイ	移動						11:20
11:40	チャイ							11:25
12:25	チャイ	給食						12:10
1:20	チャイ	休憩45分 清掃						1:05
1:35	オルゴ	移動						1:20
1:40	チャイ	15分授業						帰りの会 下校
1:55	チャイ	移動						1:40
2:00								
2:45	チャイ	移動			帰りの会	帰りの会		※3時間授業 のときは清掃 後に給食となる。
2:50	チャイ			下校3:05	移動			
3:35	チャイ	帰りの会			職員会 職員研修 職員運動 係会			
3:50								
4:00	放送	会議等	学習指導研究	学級事務		学年会	学級事務	
4:15								
4:55		児童下校時刻	4:05	4:05	3:05	4:05	4:05	